

第8期 活動計画

2021年10月～2022年9月

2021年10月19日

代表理事 高橋宜盟

はじめに

東京オリンピック・パラリンピックが終わり、誰もが等しく、病気や障害によって差別されることなく社会にしていこうという意識は高まったと思います。一方で、「健常者」が「障害者」を助けなくてはいけないという思いの強さが、悪意のない差別を生み出してしまうこともあると思います。

今後、アクセシビリティについての議論が高まると思いますが、一般的にはアクセシビリティというと障害者に対する配慮のことと考えられているようです。

私たちが考えるアクセシビリティとは、誰もが選択肢を手に入れるためにする考え方です。そしてその選択肢の中から自分の意思で選ぶ、それが自由です。そして選ぶだけでなく、選ばないという自由もあることも大切に考えなければなりません。さらにそれを一緒に考えること、ここが重要な点です。一方的に提供するのではなく、一緒に作り上げていくという考え方が、アクセシビリティの基本だと思います。

新しい第8期は、アクセシビリティという概念を多くの人と共有する1年にしたいと思います。

定款の変更

私たちの活動をより明確にするために、定款に掲げる団体の目的を次のように変更します。

- (1) コミュニケーション・アクセシビリティおよび福祉に関する調査研究事業
- (2) コミュニケーション・アクセシビリティおよび福祉に関する教育関連事業
- (3) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

主な活動予定

講習会・講演会

NPO法人ICT救助隊とのコラボ企画「さぁ楽しいiPadライフをはじめよう」を継続して行います。貸し出し用のiPadに加え、家電操作のNature Remo使いながら家の家電をiPadから操作する勉強会（オンライン）も企画されています。

講習会・講演会

コミュニケーション相談会は、アクセシビリティ相談会として継続して随時行います。概念はわかったが具体的に何をすればよいかかわからないという方も多いので、個別に受ける相談の内容をレポートし、共有したいと思います。

「言いたいことを言おう」プロジェクト～中原養護学校～

2022年3月までのプロジェクトは、終了時に先生方や保護者との座談会などを行い、活動内容遠冊子や動画にまとめる予定です。

特別支援学校 ICT外部専門家

東京都立大泉特別支援学校、東京都立小平特別支援学校武蔵分教室でのICT外部専門家の活動は、2022年3月までの契約です。引き続き更新されるかどうかは今後の協議となります。

アクセシビリティの本の出版

慈恵医大の高尾先生とアクセシビリティの本を出版予定で準備中です。当初の出版予定から1年遅れていますが、期待が高まっています。

研究員の活動発表

具体的な場所は決めていませんが、研究員の活動をセミナー等で発表する機会を設けたいと思います。